

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「山岳高原」伊那路・木曾路誘客促進事業
事業主体 (連絡先)	伊那路・木曾路広域観光連携会議 (木曾地区担当：木曾観光連盟 木曾郡木曾町日義 4898-37 0264-23-1122)
事業区分	特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,466,040 円 (うち支援金： 1,172,000 円)

事業内容

- 1.伊那路・木曾路トレイルガイドの電子ブック化
平成28年度に作成した同パンフレットを電子ブック化しホームページ上にアップ
- 2.「信州 DC 伊那路・木曾路観光展」の開催
信州 DC と連動した観光キャラバンの実施
(平成29年6月10日～11日)



【名古屋駅キャラバンの様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①パンフレットを電子ブック化してインターネット上にアップする事で、スマートフォンでの閲覧も可能となり、普及促進が図られ、利用者の利便性も飛躍的に向上した。
- ②観光キャラバンを通じて地元の安全性等のPRができた。
- ③観光キャラバンを通し、信州 DC の事前告知を行う中で、伊那路・木曾路の魅力を広くPRする事ができた。
- ④伊那路と木曾路が協働して観光キャラバンを実施する事で連帯感がより強固となった。

【目標・ねらい】

- ①パンフレットの普及促進と、利用者の利便性の向上
- ②御嶽山噴火の影響からの復興
- ③信州 DC と連動した観光客誘致
- ④伊那路と木曾路の連携強化

※自己評価【 A 】

【理由】

信州 DC との連動により、効果的な誘客活動が展開でき、パンフレットの普及も進んだ。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成28年から3年間に渡り、JRグループ6社が中心となって実施されている信州 DC と連動して観光誘客活動を実施する事は、その効果も絶大であり、平成30年のアフターDCにおいても、引き続き実施していきたい。また、益々多様化する旅行者のニーズには、伊那路・木曾路といった広域連携により対応する事は大変有効であると考えられ、今後もこの流れを継続して取り組んでいきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある